

第9回米原市定例教育委員会

日 時：平成25年9月20日
午後3時00分開会
場 所：ルッチプラザ 2階
研修室

(出席者)

教 育 委 員：稲村委員長 河居委員長職務代理者 堀田委員 小路委員
山本教育長

教 育 部 長：坪井部長

教 育 総 務 課：田中課長 山田課長補佐

学 校 教 育 課：岡田課長

生 涯 学 習 課：岩脇課長

歴史文化財保護課：桂田課長

学 校 給 食 課：喜田課長

図 書 館：小北館長

健康福祉部 理 事：岩山理事

子 育 て 支 援 課：丸本課長

書 記：田中

1 開 会

2 委員長あいさつ

- 秋晴れの日が続いていますが、先日の台風18号で、9月16日は特別警報が出ました。数十年に一度と言われるほどの大雨で、学校は連休中でしたが、市の職員の方には御苦労いただいたと思います。学校の雨漏れ等の状況を後ほど報告していただきたいと思います。最近は竜巻や大雨など想定外のことが起こります。学校や幼稚園では子ども達の命を預かっているので、危機管理、緊急時のマニュアル等の見直しを改めて考えていただくことも大事ではないかと思います。
- 明日は小学校の運動会が行われます。天候が良いと熱中症の心配がありますが、地域の方も含めて運動会は盛り上がりますので、先生方にはいろいろと御苦労いただいています。中学校の体育大会は、既に終わっていますが、途中で雨が降ったので、PTAの役員と相談しながら生徒第一に考えて種目の調整をされていました。体育大会が終わるとお礼状が来ますが、毎年同じ文章の学校があります。雨天続きで子ども達が十分な練習ができない状況の中での開催だったと書いていたのは3校の内1校だけでした。同じ挨

拶状を出すのでも形式的に書かれているものは少し寂しい気がします。

- 中学生の人権作文を依頼した際に、米原市で1校だけ提出がなかったのですが、早くからお願いしているにも関わらず、子ども達が文化祭等で忙しいので提出できないと言われてきました。自分の世界だけで判断されているようですので、学校の先生としてしっかりしていただき、いろんな事に対処していただきたいと思います。

3 教育長報告

- 教育委員会で議論していただく時間を多く取るため、私から各課の1か月間の主だった状況を報告させていただき、不足する部分は、改めて各課から御説明させていただきます。就任して約1か月が経過しましたが、大きな出来事は大雨洪水警報により3回警戒本部が設置されたことです。特に9月15日の夜から16日にかけて、市職員は徹夜で待機することになりました。各教育施設では管理職が避難所を開設しました。特に河南小学校の場合は上丹生が大きな被害を受けました。大水により道路のアスファルトがめくれ上がり、下丹生では鉄の橋が流される等、丹生川の状況が非常に厳しく、河南小学校は夜0時50分頃、教頭が現地で避難所開設をしました。他の小中学校では概ね午前6時から6時30分頃に市職員ならびに学校の管理職が広域避難所を開設し、防災マニュアルに沿った流れができました。今回の特別警報発令の中で課題もありましたので、今後見直しを進めていく予定です。小中学校の施設については、ほとんどの学校で雨漏れがありました。

【教育総務課】

- かなん認定こども園の入札において、2者が入札するとしていましたが、当日の朝に1者だけとなり結局入札ができない状況になりました。業者の範囲を広げて再度入札の準備をしていますが、来年2学期の開園に間に合うかは今後の入札の流れによって決まります。おうみ認定こども園については、9月議会の最終日に追加提案をさせていただきます。入札の結果、伊藤組が落札しました。

【学校教育課】

- 委員長の御指摘がありましたが、管理職の質的向上も含め、教員の指導を行いたいと思います。体育大会などで学校を回っていると、学校によっては保護者の言葉づかい、服装等の違いが子どもに出ているように感じることがあります。保護者の質的向上、家庭教育というものが重要だと思います。
- 全国学力状況調査の結果については、次回、市の分析なり課題・取組の情報提供をさせていただきます、御意見をいただきたいと思います。滋賀県の結果が非常に悪かった。米原市は滋賀県より悪かったのでショックを受けていますが、学校現場で何とかしなければと声をあげている教師がいるので非常にありがたいと感じています。10月10日に河南中学校で国語科の学力向上プロジェクトの授業研究会をします。小中学校の国語科主任が集まって、授業をどのように進めたらよいか検討します。

- 9月の生徒指導の中で、担当が県へ2件の暴力的事案の報告をすると言ってきました。1件は、児童が他の児童に手を出したというものです。この児童は以前から地域の人にも手が出るという経緯があり、発達障がいも含めて指導が必要です。もう1件は、課題となっていた生徒で、自分のストレスや指導を受けたことに対する反発で暴力的事案に発展しそうになった時に止めに入った教師を蹴ったというものです。教師は診断書を取っていますが、大きなけがには至っていません。今後、人間関係を作りながら指導を行っていきたいと考えています。

【生涯学習課】

- かつとび伊吹の雨天中止が残念でしたが、早朝より実行委員、スポーツ推進員の皆さんの協力でスムーズに対応できました。米原市役所内のボランティア協力が少ないのが課題です。オリンピックの開催が決まり、滋賀国体も予定されていますので、スポーツの部門については、今後はスポーツ振興計画を含め、取り組んでいきたいと考えています。米原公民館の図書室の運営につきましては、本日ある程度の議論をしていただければと思います。

【歴史文化財保護課】

- こうのとりが米原市に来ているので、米原市における移動の情報を集めながら何らかの策ができないかと考えています。非常に注目されている中で、川沿いで車を停めて撮影をしている人がいます。広報することで事故が起こる、あるいはこうのとりが居なくなることがないように情報を集めている状況です。

委員：学力調査について福井県や秋田県は高得点を取っているが、どこが違うのか。

隣の福井県と滋賀県の環境はそれほど違いがあるとは思えないので、福井県はどのようなことをやっておられるのか、教室の雰囲気や取組を見に行き行って分析していただきたい。

事務局：次回、市の考えを出させていただきます。秋田県などは類似問題をよく解かせているという話を聞きます。

委員：階段など、子どもの目の届くあらゆるところに教育的なものを掲示しているそうです。

事務局：他県は早い段階から類似問題をさせている学校もある。行き過ぎて国の施策とずれてきている。しかし現場の教員は子どもの学力を如何に高めていくかを考えなくてはならない。

委員：勉強について常に視覚に入ってくる環境、家庭環境の整った子どもは無意識のうちに力をつけていきます。

事務局：現在分析中ですが、小学生よりは中学生の方が自尊心が高く、自主学習をしている。校長先生への「補習授業をしているか」という質問に、小学校は下校時刻の問題もあり、していない。中学校はしているという回答でした。授業改善と家庭教育の両

方が必要だと考えています。

事務局：大東中学校区の小中学校の校長と伊吹山中学校区の小中学校長は、補習授業が必要と考えており、校長会でも話が出ました。

委員：毎年、米原市の学校を訪問させていただいて、全教室を見学させていただいています。子どもが自ら学習に取り組んでいるか、出来る出来ないではなく学ぶ意欲を高める、学ぶことを通じて感動体験を味あわせる。授業の中でそれぞれの子に応じた指導をする。教育の本質を大事にしていかなければならない。雰囲気作り等、学校へ御指導いただきたい。

委員：AEDの使い方等は、教職員の方は御存じですか。

事務局：消防署の職員の方に来ていただき、学校でAEDの使い方・心肺蘇生法の講習をしています。

委員：いつもは大人だけですが、子ども会で子どもを交えて講習をしたところ、子ども達に関心を持って参加していました。

4 議 題

議案第58号 後援等名義使用承認（共催）について

○第3回米原市琵琶湖一斉清掃

【学校教育課】

後援承認

議案第59号 後援等名義使用承認（後援）について

【協議案件】

○東草野に感謝するつどい

【学校教育課】

○第1回米原市小学生駅伝競走大会

【学校教育課】

○滋賀県ものづくりフェア2013

【学校教育課】

○第3回おうみしごと体験フェスタ

【学校教育課】

【報告案件】

○第22回山東カップ少年サッカー大会

【生涯学習課】

○チャレンジカップ IN MAIBARA

【生涯学習課】

後援承認

5 その他

○米原市における保育のあり方に関する検討委員会について

【子育て支援課】

事務局：小中学校の統合整備計画において、市長選挙の中で柏原中学校の統合整備については白紙撤回になっており、今年度中に統合整備計画の見直しをしなければなりません。小中学校の統合整備については、全て振り出しに戻すという状況で進めざるを得ないと考えています。委員の皆さんの御意見をお願いしたいと思ひますし、特に柏原中学校については、少人数ならではの、より良い学校づくり、地域に根ざした学校づくりをどう進めるかをテーマにしながら現場の職員と懇談をしようと思ひています。柏原地域で学校統合の反対運動をされた方とも懇談をさせていただいて、当面は小規模であることを活かした特色ある学校づくりを進めたいと考えています。

委員：全て振り出しに戻して考えていくという教育長の見解ですね。

事務局：統合に反対された方との懇談では、教育委員会の中での議論が見えてこないと言われました。ここでしっかりと議論をして公開していく。市の教育委員会としての方向を示していかなければならない。皆さんと共に議論をして参りたいと思ひます。

委員：柏原学区から大東中学校へ何名か区域外通学している子がいることについて地元の方はどう思っておられるのか。小学校・中学校の核となるべき子が抜けてしまつて地元が寂しくなってしまう。自由に学校を選べる事の真意を知りたいという話を聞いたことがあります。

事務局：区域外通学の一定のルールがあります。スポ少で行っていた種目の運動部が就学すべき学校にない場合は、区域外通学が認められています。長浜市の教育長と話をした時に、長浜市は米原市の学校統合の動きをよく見ていたと聞きました。来年、上草野小学校が統合になるそうですが、長浜市の方針は反対する住民が1人でも居たら統合しないという考えだそうです。

○幼保一元化による河南地域の一体化施設の園名について

【教育総務課】

○米原市の公民館の在り方について

【生涯学習課】

委員：青少年育成会議の中では、青少年対象事業について米原公民館の取組が弱いとの意見が出ています。

事務局：子どもを集めて公民館祭りを行っているとの話は聞いたことがありますが、青少年育成会議の中では青少年対象事業が少ないという意見が出ているということですね。

委員：公民館のコミュニティセンター化とは。

事務局：米原市の場合、公民館は既に指定管理となっています。指定管理の中でコミュニテ

ィセンター化を図ると社会教育法の縛りはずれ、収益事業を営めることになりま
す。例えば学習塾に部屋を貸す等の収益事業が可能です。行政が営む公営の公民館
をコミュニティセンター化する場合、運営の母体となる運営協議会を作り、その運
営協議会が講座等の収益事業を含めセンターの運営を行う。その場合、指定管理の
ように委託料が支払われる形になります。コミュニティセンターの成り立ちにより
運営方法が変わります。

委 員：今は指定管理ですが、そのままコミュニティセンターにスライドすることは出来な
いのですか。

事務局：米原市の指定管理の場合は、スライドして社会教育法からはずし、条例から公民館
をはずし、何々コミュニティセンター等、違う名称で条例にあげる形になります。
いくつか方法があります。

事務局：4町合併後の公共施設の在り方、その中の公民館について、従来の公民館をコミュ
ニティセンター化することを検討しようという意見が添えられています。すべから
くコミュニティセンターにすべきというものではありません。

事務局：先日的一般質問で、公の施設の見直しにおいて「コミュニティセンター化とは何か」
というものがありました。公民館的な機能は残しつつ社会教育法の縛りはずし、
指定管理をしているNPOがより弾力的に運用ができるようになると答弁しました。
現在管財課がパブリックコメントの募集中です。これで一つの方向性は出てくると
思います。

委 員：指定管理者の質の問題が出てきますね。

事務局：県内のコミュニティセンター化した所の話を書きますと、社会教育関係を知らない
人が受け手になってコミュニティセンターを運営している。講座等の事業展開の方
法が分からない人が運営を行う危険性があります。本来実施して欲しい社会教育の
講座が無くなってしまふ問題もあるようです。米原市では指定管理者が地域とい
い関係を築いています。いきなりのコミュニティセンター化は問題があるのではない
かと思います。

○米原公民館図書室について

【生涯学習課】

委 員：図書館の本の廃棄時期は。

事務局：破損・汚損、改訂版が出て資料価値がなくなったものは除籍して廃棄して
います。年限で区切っているわけではありません。

委 員：交通手段がなく図書館まで来れない人のためにも、公民館に図書室を置いて
いた方が良くと思います。

事務局：図書館で借りた本を米原公民館で返却できるし、図書館で予約した本を米原公民館
で受け取ることができます。今後もその機能は残していただきます。

委員：指定管理者としての努力がなされていないように感じます。米原町史のような資料的なものがありますが、図書室という名前がなくなったら本がどの程度残るのか。多目的利用する場合、どういう形にされるのか、本の入替はどうなるのかといった事ははっきりしませんね。

事務局：米原公民館からは古い本は必要ないと言われていました。図書館から貸し出している本が紛失するという状況から公民館の図書室への貸し出しをストップしています。

委員：今の状態では本を借りる気にならないですね。

事務局：図書館協議会の議論の中でも、電気もついていない、エアコンも入っていないので御利用くださいという空気ではないという意見があがっています。米原公民館は、米原町時代から図書室に人がいない形で運営していたので、指定管理になってもそのままの状態です。

事務局：9年前、私が米原中学校の教頭だった時に、米原公民館の図書室が子どものたまり場になっていて、地域の人とのトラブルになる事が多く、よく学校から駆け付けていました。米原中学校が荒れていた時期で、図書室に一般の人が行きづらい雰囲気になっていました。今年見かけた学生の図書室利用の様子は以前よりはマシになっているようなので、もう少し対応を柔軟に考えても良いと思います。最低限、貸出と返却機能は維持していただく。せめて月何冊かの配本をして、米原町史等の資料を置くスペースをある程度確保して活用できるようにする。

委員：おはなし会等、母親が未就園児を連れて行く場所として必要な気がします。

委員：指定管理者の努力が足りないと感じます。米原公民館で本の貸出をするのであれば全部取り払って図書館の貸出・返却機能だけ残すのではなく、ある程度の本を残しておいた方がよいと思います。

委員：今までの対応がしっかりできていない。図書室としての機能を発揮していこうという意欲はあるのか。少なくとも現状のままでは駄目だと思う。図書室機能を残すというが、地域の方や学校も含めて要望が出てきたら、きちんと見直していただきたい。

事務局：現状の図書室が必要だと考えるという話ですか。

委員：基本的には必要だと思います。全くのゼロにしてしまうのではなく現状について見直しが必要だと思います。

事務局：本を定期的に入れ替えますが、図書館から貸し出している本を置いている所に職員が誰も居ない。本の管理ができていないという現状ですので、図書館から貸し出しをするのは難しいと思います。

委員：本の貸出・返却業務は1階の事務室で行われているのですね。

事務局：利用者は2階の図書室から1階の事務室に本を持って行って手続をします。返却も1階の事務室で行います。

委員：職員の方も本の管理ができていない。

事務局：米原町時代の図書室運営についても無人でした。指定管理者は、従来の図書室の運営方法を見て、同じ運営をしています。図書室に職員を置いて運営をするとなると、図書室の運営方法のマニュアル化が必要になると考えます。

また、人を配置するとなると指定管理料の見直しが必要となりますので、いろいろと検討する必要があります。これは次の段階として我々が協議していくこととなります。今回、図書室のサービスを継続して展開したいということになれば、指定管理者と協議していくこととなります。方針が決まるまでは、現在の状況が続くこととなります。

委員：指定管理をする時に取り決めはなかったのですか。

事務局：仕様書には図書館側が望むような記載はありません。伊吹の図書室については、従来から人がいる状況で指定管理を受けておられますが、米原公民館は無人の状態で指定管理を受けておられますので、状況が違います。

委員：公民館として今後の図書室構想はお持ちなのですか。構想を前面に出していただくと結論も出し易い。

事務局：図書室をやめるとなれば、ただの貸し部屋になる可能性がありますし、図書室を継続ということになれば運営形態の検討、人を置くとなると指定管理料の改定ということにもなると思います。

委員：指定管理者側の熱意が人を動かすと思います。町史等を置いたまま、ずるずると多目的利用にしてしまうと本がなくなってしまう。責任を持った将来的なビジョンがあれば結論はもっと出しやすいと思います。

事務局：ある一角には図書室の機能を残して欲しいという意見です。残りのスペースの有効利用については改めて聞かせてもらう機会を設けたら良いと思います。ただ、図書室に人を置くというのは今更無理な話なので、1日に1回は見届けて欲しい。子連れのお母さん方のために絵本を置いてもらうという活用の仕方は良いと思います。

事務局：指定管理者との協議の際に、大変難しい問題なので、すぐに回答は出ないという話はしています。継続審議にさせていただき、公民館へ行って、指定管理者の声を聞いていただくのも一つの方法だと考えます。

委員：今日の結論としては、図書室の機能を一部分でも残しておきたいし、図書館の貸出・返却業務はお願いしたい。その他のスペースの有効利用について提案していただければ、やっていただきたい。

事務局：現状の図書室の活用状況を見ていただくのも良いことだと思います。

委員：米原公民館で教育委員会を開くなり、学校訪問の際に立ち寄るなど、機会を設けてもらいたい。

6 閉 会

次回

第10回定例委員会 10月22日(火) 午後3時15分～
米原公民館 研修室 3B

以上をもって 第9回定例教育委員会を午後5時33分に終了した。